

作成日: 2016年04月25日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: アルミ用ロッド AL450

製品番号(SDS NO): 1053001

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: アルミの溶接/補修

供給者情報詳細

供給者: 旭エンジニアリング株式会社

住所: 大阪府大阪市福島区鷺洲4-4-3

担当部署: 管理部

電話番号: 06-6452-5811

FAX: 06-6452-5770

緊急連絡先電話: 06-6452-5811

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性(溶接作業時に発生する粉じん/煙/ガスに起因する有害性)

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2

環境有害性(溶接作業で発生する溶接くずが環境に放出された場合の危険有害性)

水生環境有害性(急性): 区分 1

水生環境有害性(長期間): 区分 1

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

強い眼刺激

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
アルミニウム	2-10	7429-90-5	-
亜鉛	-	7440-66-6	-
銅	0.05-9	7440-50-8	-
マグネシウム	<0.08	7439-95-4	-

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置の記述

(溶接作業時に発生する粉じん/煙/ガスを)吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

(溶接作業時に発生する粉じん/煙/ガスが)皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

(溶接作業時に発生する粉じん/煙/ガスが)眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

不適切な消火剤

水を使用してはならない。(溶融した合金に水を掛けると炎が広がって危険なため)

消火を行う者への勧告

消火を行う者の保護

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置(溶接作業で発生する火花が作業員以外に飛散した場合、或いは溶接くずが漏出した場合)

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

(溶接作業時に発生する)粉じん/煙/ガス/ミストを吸入しないこと。

(溶接作業後に発生する溶接くずの)粉じんを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

避けるべき保管条件

水、湿気を避けて保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露防止

設備対策

- 排気/換気設備を設ける。
- 手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

- 換気が不十分な場合、(溶接作業に適した)呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

- 溶接作業用保護手袋を着用する。

眼の保護具

- 溶接作業用保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- 溶接作業用保護衣を着用する。

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状：固体(φ3x 450mmのロッド状)

色：銀色

臭い：無臭

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

融点/凝固点：387°C

比重/密度: 6.68g/cm³

溶解度

水に対する溶解度：不溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

- 常温、常圧の保管条件において安定である。

混触危険物質

強酸、強塩基

11. 有害性情報

毒性的影響に関する情報

急性毒性データなし

労働基準法: 疾病化学物質

亜鉛

局所効果

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(亜鉛)

ラビット 軽度の刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2007)

感作性データなし

催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

水生毒性(急性)成分データ

[日本公表根拠データ]

(亜鉛)

藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) ErC50=0.15mg/L/72hr (EHC 221 2001)

水溶解度

(亜鉛)

反応する (ICSC, 1994)

残留性・分解性データなし

生体蓄積性データなし

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

粉じんの飛散を避けること。

環境への放出を避けること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

環境有害性(溶接作業で発生する溶接くずが環境に放出された場合)

海洋汚染物質_急性有害性

亜鉛

海洋汚染物質_長期間有害性

亜鉛

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

じん肺法に該当しない

大気汚染防止法

有害大気汚染物質(中環審第9次答申)

亜鉛

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

水質汚濁防止法

指定物質

亜鉛

法令番号 54

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(NITE 平成26年度)です。